

【新規事業 高校生4人を派遣】

2003トリードインターナショナルユースアカデミー

豊橋市の姉妹都市アメリカ合衆国オハイオ州トリード市の2003インターナショナルユースアカデミーへ、7月20日(日)から8月10日(日)までの22日間、市内在住の高校生4人を派遣しています。

アカデミーの概要

トリード市は、姉妹都市をはじめ友好関係にある数カ国の都市から毎年夏に高校生を集めて、3週間ホームステイをしながら、トリード市の高校生と一緒に学習する

国際ユースアカデミーを実施しています。アカデミーは、ウィークデーの毎日行われ、午前中が英語のレッスン、午後は市内外の施設見学、スポーツ、写生などさまざまな活動が組み込まれています。土・日曜日はホストファミリーと過ごし、アメリカの生活様式を体験するという内容になっています。

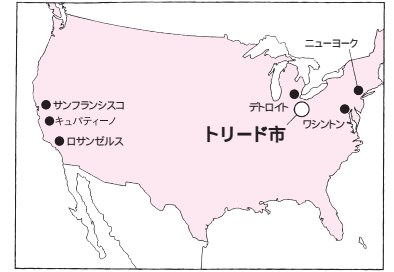


アカデミーの学習の様子

派遣の経緯

豊川市人づくり懇談会から「児童生徒をできるだけ多く海外研修に出し、異文化や人間としての付き合い方を肌で学ばせる」という趣旨の提案があり、市では「対象年齢を幅広く設定し、派遣先も姉妹都市に限定せず、自己負担、派遣選考(論文、面接)を取り入れた新しい海外派遣事業を行う」という考えのもとに、協会の事業として、平成15年度から実施することにしました。ホームステイを組み合わせ、複数の国の青少年が共に学び、共

に遊ぶというトリード市のユニークなプログラムへの参加について



豊橋市、(財)豊橋市国際交流協会、豊橋トリード委員会の寛大なご配慮があり、豊橋市6人、豊川市4人、合計10人の高校生を派遣することになりました。募集の結果、豊川市では13人の申し込みがあり、豊橋豊川合同の審査会で論文の審査と面接を行い、次の4人の高校生を選考しました。金子将太(御油町・蒲郡東高校)、田中美帆(三蔵子町・時習館高校)、仁枝恵梨果(高見町・時習館高校)、榎本寛子(国府町・時習館高校)

トリードってこんなまち

都市公園が整備され、水と緑の美しい都市です。北緯42度、北海道函館市とほぼ同緯度であり、デトロイト市から南へ約100km、エリー湖の西に位置しています。人口約33万人、面積約210平方km(豊川市の3.2倍)、年間降水量は808mm(豊川市は1,457mm)です。産業は自動車、ガラス、プラスチック、金属製品の生産が活発です。文化面も充実しており、美術館は全米有数のガラスコレクションやエル・グレコ、ゴッホなどの絵画で名高く、動物園は年間100万人もの人が訪れ、特に水中の姿が見ら



水と緑が美しいトリード市

れるカバ舎の規模は世界一です。国際交流は豊橋(日本)、トレド(スペイン)、ポズナン(ポーランド)、秦皇島(中国)、セゲド(ハンガリー)と姉妹都市提携をしています。

NECワープロ・パソコン専門店
文具・事務用品・紙製品
スチール家具・OA機器



有限会社 **するが屋**

豊川市光明町2-7

(0533)86-2509 FAX(0533)86-2299

村松書店

〒442-0041 豊川市旭町6番地

TEL (0533) 86-3810

FAX (0533) 86-2682

E-mail add.

mbooks@amitaj.or.jp